

文化スポーツ行政の在り方における検討経過について

1 文化・スポーツ行政の検討に向けた意見交換会の経過

令和5年度第1回総合教育会議で付議した「文化・スポーツ行政の在り方」の議論を進めていくため、意見交換会を設置し、市長部局と教育委員会において議論を深めた。

第1回(令和5年8月9日 13:00~15:00)

(議題) ・意見交換会の設置について

- ・文化・スポーツ関係事業の市長部局及び教育委員会での現状の取組について
- ・文化・スポーツに関する市民ニーズについて(世論調査結果、こどもモニターの活用)

第2回(令和5年9月13日 13:00~15:00)

(議題) ・松戸市の目指す方向性について

- ・今後の組織イメージについて

第3回(令和5年10月25日 9:00~11:50)

(議題) ・文化スポーツ行政に関わる市民ニーズについて(調査結果、こどもモニターの途中経過)

- ・(仮称)文化・スポーツ部の新設について(案)

2 関係団体等への情報共有について

社会教育委員会議(令和5年7月12日)及びスポーツ推進審議会(令和5年7月25日)の構成員に対し、令和5年度第1回総合教育会議の付議事項について報告・共有した。

3 意見交換会で出された主な意見・課題等

全体

- ✓ 事業の多様性が進む中で、市長部局に事業の連携を調整する司令塔的な部門の設置は必要。
- ✓ 市長部局と教育委員会とで連携が上手くいっていない事業もあり、互いのノウハウを共有し連携しながら進めていくためにも、しっかりと議論や意見交換をしたうえで事業展開を模索していくことが重要。
- ✓ 組織移管は、市民にとってよりわかりやすい形にしていく必要がある。また市民のニーズを受けて組織移管・事業展開を行うことが前提で、特に文化・スポーツ活動を担う団体は、教育的な意識をもって活動している人もいることから、その方々の思いやニーズを受け止めていく必要がある。

文化事業に関して

- ✓ 文化事業の展開において、文化・芸術や文化財等を気軽に感じ知ってもらうイベント等の事業展開も大事であるが、その土台には文化財の保存・継承が重要であり、それを実現するためには、学芸員の知識やノウハウの引継ぎ、人材確保の視点が重要となる。
- ✓ 文化事業は、市民ニーズから展開するものではなく、市として市民に享受していきたい思いをもとに展開していくことが重要。特に学校教育と連携し、松戸の歴史や文化を知ってもらうことは重要となる。
- ✓ 文化事業を移管する場合、市長部局で実施する文化事業を明確にしてほしい。

スポーツ事業に関して

- ✓ 少子高齢化が進む中、健康分野との連携した取組が重要。また忙しいビジネスパーソンや子育て世代が気軽にスポーツを楽しむためには、親子で楽しめる取組み、ウォーキングやランニングがしやすい道路の整備、遊具が充実した公園の整備など、街づくり部門と連携した事業展開にも期待したい。
- ✓ プロスポーツ誘致や大型スポーツ施設の整備については、優先順位を考えて実施いただきたい。